

2. 苫小牧市多文化共生指針アクションプランの内容

アクションプランは、各目標や基本方針に基づいて具体的に取り組む施策やその内容を、アクションとして一覧化したものです。各基本方針や施策内容に加え、指標目標や施策の実行主体、ロードマップ、も設定し、指針の期間内に計画性をもってアクションプランを遂行します。

目標Ⅰ ともに暮らす ～住み続けたい地域づくり～

【基本方針 1】 地域における多文化包摂力の向上

施策 1-1 やさしい日本語の普及	これまでに開催してきたやさしい日本語講座を、庁内や地域全体を対象として無償で拡充するなど、多くの市民がやさしい日本語に触れ、学ぶことができる機会を増やします。
施策 1-2 ノウハウの共有	庁内や地域における、様々な場面での対応の好事例を公開したり、対応研修を実施するなど、普段の生活や仕事で役立つ具体的な行動の共有に取り組めます。

【基本方針 2】 生活基盤を支える取組の強化

施策 2-1 手続きの簡略化	公共施設などの利用手続きを分かりやすく説明表示したり、手続きの手順を削減するなど、誰もが利用しやすいよう、難解な手続きの見直しと効率化を目指します。
施策 2-2 文書のやさしい日本語化	基礎的な行政手続きなどに関する情報のやさしい日本語化や、国などが発行する多言語案内を活用するなど、対応者・利用者ともに負担を削減する取組を進めます。
施策 2-3 窓口や表示の多言語化	ICT を利用した案内表示の多言語化や、窓口における多言語通訳機器の設置など、デジタル技術の利活用を通して多言語対応の利便性を高めます。

【基本方針 3】 安心・安全な暮らしの推進

施策 3-1 防災や防犯の啓発	緊急時における情報発信源の一元化や伝達網の整備、防災や防犯に関する既存の取組の多言語化など、平時と有事のいずれにも対応可能な啓発活動に取り組めます。
施策 3-2 社会保障サービスの向上	保育施設や医療機関などにおける、多言語通訳機器の導入率向上など、個人の生活に直結する多様なニーズが正確に伝達され、対応されることを目指します。
施策 3-3 住環境に関する理解の促進	生活オリエンテーションの実施や、住み方の手引きの作成など、既存の取組を発展させながら、住まいの提供者・利用者・同居者ともに安心して暮らせる環境をつくります。

実行計画

目標 I		ともに暮らす ～住み続けたい地域づくり～				
KGI	苦小牧市への定住意向	現状値 68%	目標値 72%			
地域における多文化包摂力の向上 【基本方針1】	施策 1-1 やさしい日本語の普及	実行主体	市、地域			
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度	
	施策 1-2 ノウハウの共有	KPI	苦情・問い合わせ件数	現状値 114 件	目標値 現状値より削減	
		実行主体	市、地域			
	生活基盤を支える取組の強化 【基本方針2】	施策 2-1 手続きの簡略化	ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
			KPI	主要施設の利用率	現状値 令和7年度計測	目標値 現状値により設定
施策 2-2 文書のやさしい日本語化		実行主体	市、関連団体など			
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度	
施策 2-3 窓口や表示の多言語化		実行主体	市			
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度	
安心・安全な暮らしの推進 【基本方針3】	施策 3-1 防災や防犯の啓発	KPI	治安悪化などの懸念割合	現状値 21%	目標値 15%	
		実行主体	市、地域、関連団体など			
	施策 3-2 社会保障サービスの向上	ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度	
		実行主体	市、関連団体など			
	施策 3-3 住環境に関する理解の促進	ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度	
		実行主体	市、関連団体など			

※指標目標は、アンケート調査の結果や、本市が有する各種統計数値データに基づいて算出しています。

【基本方針 4】 習熟度に応じた相互交流の促進	
施策 4-1 学習型日本語教育の拡充	日本語教育に関する専門性の高い有償ボランティアの育成や、外部専門事業者との連携の検討など、利用者のニーズに即したより質の高い日本語教育の提供を進めます。
施策 4-2 交流型日本語支援の充実	登録されている国際交流ボランティアの活用や、外国人市民が主体の交流型日本語教室の実施など、多様な市民の交流を通じた有機的な日本語学習の場を提供します。
【基本方針 5】 ユビキタスな日本語学習環境の整備	
施策 5-1 ICT を活用した学習機会の提供	日本語教室のオンラインやオンデマンド配信の実施など、ICTを利用して、時間や場所を問わずニーズに応じた日本語が学習できる環境をつくります。
施策 5-2 自主学習環境の創出	企業や教育現場などにおける、外国人・日本人市民の共同作業による実践的学習教材の作成など、自宅以外で日常生活に根差した日本語が身に付く取組を進めます。
【基本方針 6】 余暇活動の充実	
施策 6-1 地域行事やイベントの活性化	行事やイベントなどの情報が集約されたオンラインコミュニティの開設や、足を運びやすくするためのサポートシステムの検討など、全市民が参加しやすい環境づくりを目指します。
施策 6-2 掛け合わせの取組の創出	スポーツイベントなどでの国際交流ブースの出展や、多国籍な料理教室の開催など、既存のイベントや取組と国際交流を掛け合わせたレクリエーション活動の充実を図ります。



実行計画

目標 II		ともに育む ～主体性を持ち、活躍できる人材育成～			
KGI	市民の交流率	現状値 58%	目標値 63%		
習熟度に応じた相互交流の促進 【基本方針4】	施策 4-1 学習型日本語教育の拡充	実行主体	市、市民、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
		実施			
	施策 4-2 交流型日本語支援の充実	KPI	登録ボランティアの活用率	現状値 1.7%	目標値 35%
		実行主体	市、市民		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
	検討・実施				
ユビキタスな日本語学習環境の整備 【基本方針5】	施策 5-1 ICT を活用した学習機会の提供	実行主体	市、市民、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
		検討・実施			
	施策 5-2 自主学習環境の創出	KPI	日本語教材共同作成件数	現状値 0 件	目標値 3 件
		実行主体	市、市民、事業者、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
	検討・実施				
余暇活動の充実 【基本方針6】	施策 6-1 地域行事やイベントの活性化	実行主体	市、市民		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
		検討	実施		
	施策 6-2 掛け合わせの取組の創出	KPI	掛け合わせの取組数	現状値 0 件	目標値 5 件
		実行主体	市、市民、地域、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
	検討・実施				

※指標目標は、アンケート調査の結果や、本市が有する各種統計数値データに基づいて算出しています。

【基本方針 7】 産学官協働の向上

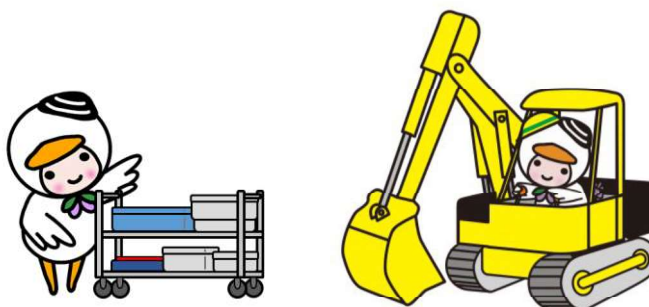
<p>施策 7-1 産学の実践に対する支援の整備</p>	<p>企業の日本語支援に対する補助金や、教育現場での外国人市民による就労発表会の開催など、産学における国際交流を深める取組を推進します。</p>
<p>施策 7-2 地域の在留支援関連機関との連携拡大</p>	<p>市内の企業を中心に、産官に対する在留資格説明会の定期開催や、産業別外国人就労者割合の定点観測など、在留支援機関との連携によるファクトベースな情報提供を強化します。</p>

【基本方針 8】 企業間連携の推進

<p>施策 8-1 企業間ネットワーキングの強化</p>	<p>外国人雇用の進んでいる企業から、今後雇用を検討する企業へのノウハウ提供など、既存の基盤を活用しながら、企業間で生産的な情報共有がなされる取組を推進します。</p>
<p>施策 8-2 リソース共有の仕組み作り</p>	<p>外国人就労者用の生活物品や、家庭用品のリサイクルなど、各企業に点在するリソースを企業間で有効活用できるような仕組みの構築を目指します。</p>

【基本方針 9】 幅広い就労支援の提供

<p>施策 9-1 地域の就職支援機関との連携の検討</p>	<p>外国人の就労に関するガイドブックなどの共同作成や、在留支援機関との連携による就労希望者の就労促進など、外国人材の一層の活躍に向けた有機的な連携の体制を検討します。</p>
<p>施策 9-2 帯同家族への就労のサポート</p>	<p>就労意思のある帯同家族への就労前トレーニングの提供や、企業とのマッチングイベントの開催など、既存の取組を発展させながら、就労機会の拡大を目指します。</p>



実行計画

目標 III		ともに働く ～人とまちが成長する産業拠点都市～			
KGI	外国人材の雇用企業割合	現状値 令和7年度以降に計測予定	目標値 現状値により設定		
産子官協働の向上 【基本方針7】	施策 7-1 産学の出組に対する支援の整備	実行主体	市、事業者、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
		検討・実施			
	施策 7-2 地域の在留支援関連機関との連携拡大	KPI	情報入手・共有に関する企業満足度	現状値 令和7年度計測	目標値 現状値により設定
		実行主体	市、地域、事業者、関連団体など		
	ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度	
	実施				
企業間連携の推進 【基本方針8】	施策 8-1 企業間ネットワークの強化	KPI	企業による外国人材の雇用継続率	現状値 令和7年度計測	目標値 現状値により設定
		実行主体	市、事業者、関連団体など		
	ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度	
		検討・実施			
	施策 8-2 リソース共有の仕組み作り	実行主体	市、事業者、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
	検討				
幅広い就労支援の提供 【基本方針9】	施策 9-1 地域の就職支援機関との連携の検討	実行主体	市、市民、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
		検討・実施			
	施策 9-2 帯同家族への就労のサポート	KPI	企業・就労者のマッチング件数	現状値 0 件	目標値 2 件
		実行主体	市、市民、事業者、関連団体など		
	ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度	
	実施				

※指標目標は、本市が有する各種統計数値データに基づいて算出しています。

【基本方針 10】 バウンダリーレスな情報発信の強化

<p>施策 10-1 若年層と共同した情報の発信</p>	<p>教育現場と外国人市民が協働する観光ボランティアスクールの開催など、若年層が様々な文化と触れ合いながら、その魅力などを発信する機会を増やします。</p>
<p>施策 10-2 多国籍主体による情報の発信</p>	<p>外国人市民をパーソナリティやゲストに起用したコミュニティラジオ番組や、情報動画の定期放送など、多文化共生に関する情報発信の間口を広げます。</p>

【基本方針 11】 苫小牧の魅力の共有

<p>施策 11-1 苫小牧を学ぶ機会の提供</p>	<p>やさしい日本語による市民講座や市内ツアーの実施、市内での文化体験の提供と拡充など、既存の取組を活用し、多くの市民が本市の特徴を認識できる機会を提供します。</p>
<p>施策 11-2 多様な視点からのプロモーション</p>	<p>MICE やスポーツの国際大会、海外合宿の誘致などを念頭に、国籍や文化的背景の異なる様々な視点から本市の強みを洗い出し、重層的なプロモーションに繋がります。</p>

【基本方針 12】 持続的な推進体制の確立

<p>施策 12-1 コーディネート人材の確保と育成</p>	<p>庁内での留学生インターンの採用や、教育・医療現場などにおける CIR の活用など、多文化共生に関する取組をスムーズに実施するためのコーディネート人材の拡充を図ります。</p>
<p>施策 12-2 広域連携と協力体制の構築</p>	<p>国や北海道、道内の自治体や、関連機関などとの定期的な情報共有や、近隣自治体と連携した取組の展開など、多文化共生施策の推進に資する広域的な協力体制の構築を進めます。</p>



実行計画

目標 IV		ともに輝く ～魅力づくりと賑わいづくり～			
KGI	ちがいを気にしないと感じる割合	現状値 56%	目標値 62%		
バウンダリーレスな情報発信の強化 〔基本方針10〕	施策 10-1 若年層と共同した情報の発信	KPI	若年層向けイベントの参加者満足度	現状値 令和7年度計測	目標値 現状値により設定
		実行主体	市、市民、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
	施策 10-2 多国籍主体による情報の発信	KPI	ラジオ番組への外国人市民参加割合	現状値 令和7年度計測	目標値 現状値により設定
		実行主体	市、市民、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
苦小牧の魅力の共有 〔基本方針11〕	施策 11-1 苦小牧を学ぶ機会の提供	KPI	市民講座などへの外国人市民参加割合	現状値 令和7年度計測	目標値 現状値により設定
		実行主体	市、市民、地域、事業者、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
	施策 11-2 多様な視点からのプロモーション	実行主体	市、市民、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
		ロードマップ	実施		
持続的な推進体制の確立 〔基本方針12〕	施策 12-1 コーディネート人材の確保と育成	実行主体	市、市民、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
		ロードマップ	検討・実施		
	施策 12-2 広域連携と協力体制の構築	実行主体	市、関連団体など		
		ロードマップ	令和 7(2025)年度	令和 8(2026)年度	令和 9(2027)年度
		ロードマップ	実施		

※指標目標は、アンケート調査の結果や、本市が有する各種統計数値データに基づいて算出しています。